

第4次 豊岡市行財政改革大綱の策定方針

2019年6月7日

豊岡市



1 第4次豊岡市行財政改革大綱策定の必要性

本市では、第1次行政改革（期間：2006－2009年度）、第2次行政改革（期間：2010－2013年度）を実施し、現在、第3次行政改革（期間：2014－2021年度）に取り組んでいます。

2019年度当初予算において、介護保険事業特別会計繰出金や公立豊岡病院組合負担金、障害者自立支援給付事業などの大幅な増加によって歳出に見合う一般財源^{*}の確保が困難な状況となり、財政調整基金からの大幅な繰入れにより収支の均衡を図る事態となりました。少子・高齢化が進行する中、今後もこれら社会保障経費等に関する歳出予算の拡大は必至の状況です。

一方、市税収入は、人口減少・高齢化により将来に向けて減少は避けられない状況です。また、普通交付税^{*}は本市の一般財源の半分近くを占めていますが、合併市町村に上乘せして交付されてきた特例措置は段階的に縮小されており、今後2020年度、2021年度の2カ年でさらに約5億円減少するベクトルが働くため、来年度以降の財政運営はさらに厳しさを増すものと考えられます。

本年度当初予算の状況と将来の見込みを踏まえると、今後の財政収支は赤字に転落する可能性が高まっており、市の貯金である財政調整基金が当初予算編成後で約32億円あるものの、この状況が続く限り取崩しを余儀なくされ、近い将来底をつく危機的な状況となっています。

このことから、第4次行財政改革大綱を、予定を前倒しして早急に策定し、財政状況の改善を目指す必要があります。

2 策定期間及び推進期間

大綱は、2019年度内に策定し、推進期間は2020年度から2023年度の4年間を大綱推進期間とします。

用語解説

<普通交付税>

標準的なサービスをどの自治体でも提供できるように、国が一定の基準で算定して使い道を定めずに交付するお金のこと。

<一般財源>

用途が特定されておらず、市が自由に使用できる財源のこと。

<財政調整基金>

急激な歳入の減少や突発的な歳出の増加に備えて積み立てるお金のこと。

3 第4次豊岡市行財政改革大綱の策定方針

「市民への持続可能な行政サービスを可能にする財政運営が行われている」ことを目指して、次の4つの状態を達成するための大綱を策定します。

(1) 市民等との共創^{*}によるまちづくり

これまでの行政改革では、「新しい公共による協働の推進」を柱とした取り組みを進め、地域コミュニティづくりや、民間委託等を実施してきました。第4次行財政改革では、これらの協働の取り組みをさらに推進し、市民、企業や他の自治体等と共に新しい価値と目標を創り、それぞれが当事者意識を持ってその実現に向けた活動を実践するための仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

(2) 歳入確保の推進

第3次行政改革における取り組みを通じて、ふるさと納税による効果額が極めて多いことが分かりました。そのため、第4次行財政改革では、ふるさと納税のさらなる推進を中心に、市有財産の売却の推進、ネーミングライツ^{*}、既存税率の見直しや新税導入など新たな財源の確保について検討していきたいと考えています。

(3) 効率的・効果的な予算編成及び執行

第3次行政改革では、重要施策に関して戦略的政策評価^{*}を実施し、効果的な予算編成を実施してきました。第4次行財政改革では、定常的業務や既存の資産に関しても点検を実施し、効率的な事務事業の実施や資産の有効活用についても推進していきたいと考えています。

用語解説

<共創>

市民、企業、行政という立場に関わりなく、対話を重ねながら求める価値や目標を「共」に「創」り上げ、その達成のために活動していくこと。

<ネーミングライツ>

公共施設などに名称を付与する権利（命名権）などのこと。

<戦略的政策評価>

目指すべき目標を定め、それを達成するための作戦を市民等と一緒に考える行政評価の手法。

(4) 職員の意識・行動改革

第3次行政改革までの「職員の意識改革」を一層推進し、改善・改革の「行動」を起こすことを目指します。まず、個人レベルで工夫や改善が実施され、それらの改善に関する情報を共有する必要があります。また、課を越えた改革は部長等が、係を越えた改革は課長等がリーダーシップを発揮し、率先して改革・改善を進めることが重要であるため、その仕組みを考える必要があります。「豊岡市役所キャリアデザインアクションプラン」*に基づき、職員が主体的にスキルアップを行いながら、これらの改善・改革を推進します。

4 目標の設定

収支の均衡を確実に達成するため、前項の(2)及び(3)については、数値（金額）で目標を設定する必要があります。(1)及び(4)については、市民サービスの向上などの質的改善も多いため、数値化（金額化）可能なものについてのみ数値（金額）目標を設定したいと考えています。

用語解説

〈豊岡市役所キャリアデザインアクションプラン〉
職員が性別に関わりなく能力を発揮し、市民の暮らしを支えることを目的とした、市組織及び市職員意識改革の取組み。